

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ワコーレ芦屋大東町マンション	階数	地上5階
建設地	兵庫県芦屋市大東町37番2、38番3	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	XX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年11月 予定	評価の実施日	2020年6月23日
敷地面積	1,272 m ²	作成者	大西佳代子
建築面積	748 m ²	確認日	
延床面積	2,842 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

① 参照値 100%
② 建築物の取組み 78%
③ 上記+②以外の 78%
④ 上記+ 78%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.5

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 地域景観に配慮したデザインとした。 緑の少ない地域に多くの植樹を計画することで、地域景観の向上を図っている。		その他 道路際に植栽帯をリズムカルに設け、緑を感じられるような計画とした。
Q1 室内環境 遮音・断熱性に配慮した。 住戸部分の全てのサッシは遮音性能T-2、断熱性能H-2とした。	Q2 サービス性能 駐車場・駐輪場の台数を設置義務台数より多く確保した。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺の環境に圧迫感を与えないよう、アイボリーを基調としたシンプルなデザインとした。
LR1 エネルギー 照明計画等の設備システムの高効率化に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない材料など、低環境負荷材を利用した。また、躯体と仕上げ材、内装材と設備を容易に分別可能とした。	LR3 敷地外環境 敷地外環境へ悪影響を与えないために、各種基準を満たすよう配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される